

チアミンジスルフィド 10mg 錠

溶出性〈6.10〉 本品1個をとり、試験液に水 900mL を用い、パドル法により、毎分 50 回転で試験を行う。溶出試験開始 90 分後に溶出液 20mL 以上をとり、孔径 $0.45\mu\text{m}$ 以下のメンブランフィルターでろ過する。初めのろ液 10mL を除き、次のろ液 5mL を正確に量り、0.15mol/L 塩酸試液 2mL を正確に加えて混和し、試料溶液とする。別にチアミンジスルフィド標準品（別途 0.2g につき、容量滴定法、直接滴定法により水分〈2.48〉を測定しておく）約 20mg を精密に量り、1mol/L 塩酸試液に溶かし、正確に 100mL とする。この液 4mL を正確に量り、水を加え、正確に 100mL とし、標準溶液とする。試料溶液及び標準溶液につき、1mol/L 塩酸試液 4mL を水で 100mL とした液を対照とし、紫外可視吸光度測定法〈2.24〉により試験を行い、波長 242nm における吸光度 A_{T1} 及び A_{S1} 並びに 400nm における吸光度 A_{T2} 及び A_{S2} を測定する。

本品の 90 分間の溶出率が 70%以上のときは適合とする。

チアミンジスルフィド ($\text{C}_{24}\text{H}_{34}\text{N}_8\text{O}_4\text{S}_2$) の表示量に対する溶出率(%)

$$= W_s \times [(100 - p) / 100] \times [(A_{T1} - A_{T2}) / (A_{S1} - A_{S2})] \times (1 / C) \times (252 / 5)$$

W_s : チアミンジスルフィド標準品の秤取量 (mg)

p : チアミンジスルフィド標準品の水分 (%)

C : 1 錠中のチアミンジスルフィド ($\text{C}_{24}\text{H}_{34}\text{N}_8\text{O}_4\text{S}_2$) の表示量 (mg)

0.15mol/L 塩酸試液 塩酸 13.5mL に水を加えて 1000mL とする。